東日本大震災復興関連埋蔵文化財調査状況アンケート（被災県・市町村・財団）

機関名

Ⅰ　復興に係る発掘調査について

1. 復興に伴う発掘調査はさまざまに困難な状況の中進められたと思いますが、どのような点に苦労されましたか（複数回答可）
2. 庁内の調整（調査の是非、調査日程など） □大変苦労　 □やや苦労　 □ほぼ円滑
3. 地権者との調整（調査の是非、調査日程など） □大変苦労　 □やや苦労　 □ほぼ円滑
4. 作業員の確保　　 □大変苦労　 □やや苦労　 □ほぼ円滑
5. 調査器材（プレハブ・発掘用具など）の調達　　□大変苦労　 □やや苦労　 □ほぼ円滑
6. 放射線汚染対策（福島・宮城） 　　　　　 □大変苦労　 □やや苦労　 □ほぼ円滑
7. その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※自由記載

1. 県と市町村との調整についてお答えください
2. 県からみた市町村の対応（県教育委員会が回答）
* 震災後、より緊密な連絡調整が図られた
* 全般的に円滑な調整が図られた
* 県の方針に対しうまく調整できなかった市町村があった
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
1. 市町村からみた県の対応（市町村教育委員会が回答）
* 震災後、より緊密な連絡調整が図られた
* 全般的に円滑な調整が図られた
* 全般的に市町村の意見や要望が届きにくいことが少なくなかった
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※自由記載

1. 整理作業及び報告書刊行についてお答えください
* 刊行すべき報告書の概数をお答えください　　　　　　遺跡数　　　　冊
1. 整理作業及び報告書刊行の進行状況
* 震災前と変わらず、順調に進んでいる
* 震災前に比べると遅れ気味であるが、ほぼ順調に進んでいる
* 報告書の刊行が遅れている、または遅れる見通し
* 遅れの量的割合は　□僅か　　□半数以下　　□半数以上　　□すべて

□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

1. 整理作業や報告書刊行の課題はありますか
* 課題は特にない　⇒　Ⅱの設問へ
* 課題がある　　　⇒　(3)の設問へ
1. 整理作業や報告書刊行の課題は何ですか（複数回答可）
* 時間が確保できない　　□人員が確保できない　　□予算が確保できない
* 整理場所が確保できない
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　）
1. 報告書作成の見通し（複数回答可）
* 平成28年度中に刊行予定（　　　　遺跡数　　　　冊）
* 住まいの確保に関する事業が終了する年限（市町村によって異なる）までに終了予定

（　　　　遺跡数　　　　冊）

* 復興・創生期間の平成32年度までに終了予定（　　　　遺跡数　　　　冊）
* 平成33年度以降に持ち越されると予測される報告書（　　　　遺跡数　　　　冊）

※自由記載

1. 資料収蔵庫の状況についてお答えください
2. 資料収蔵庫の現状・被災
* 震災前からの収蔵庫あり　　□被災後レスキューし別途保管　　□被災流失
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
1. 収蔵庫建設等の予定
* 既存施設あり　　　　　　　　　　　　　□震災後収蔵庫建設（建設中を含む）
* 建設計画あり（　　　年度完成予定）　　□建設計画なし
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※自由記載

Ⅱ　職員体制

1. 震災後に組織の見直しがありましたか
* なかった
* あった
* 増員　　　震災前　　　　名から　　名へ増員（職種　　　　　　　　　　　　　）
* 配置換え　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
* 内部支援　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
* その他　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※自由記載

1. 派遣職員を受け入れた自治体、財団
* 派遣の期間と延べ人数は何人ですか　　延べ　　　ヶ月　　延べ　　　名
1. 受け入れる側としての留意点や苦労など（複数回答可）
* 調査マニュアルなどの準備をした
* 派遣職員への調査方法などの説明会を行った
* 派遣職員の健康への十分な配慮をした（放射線の影響・健康管理等）

※自由記載

1. 派遣を受け入れたことによる成果と課題（複数回答可）
* 復興調査が大きく進み、大変助かった
* 異なる自治体などの行政調査の進め方を学ぶことができた
* 各地の異なる調査方法の調整に苦慮した
* 今後同じような災害等がおきた場合、また派遣職員をお願いしたい

※自由記載

４　災害時等における職員派遣についてお答えください

1. 自治体や財団からの派遣は、同様の事態が起きた場合にも今後も実施すべき

□はい　□いいえ　□どちらともいえない

1. 財団から自治体へ、あるいはその逆への派遣が制限されましたが、どう思われますか

□現行のままで良い　□柔軟に対応すべき　□どちらともいえない

1. 測量など部分委託をもっと積極的に活用すべき　□はい　□いいえ　□ケースバイケース
2. 民間発掘会社などをもっと積極的に導入すべき　□はい　□いいえ　□ケースバイケース

※自由記載

Ⅲ　復興調査への周辺の理解

1. 庁舎内の理解
2. 庁舎内での理解があり、特にトラブルはなかった　□なかった　□少しあった　□多かった
3. 復興工事の遅れの理由に埋蔵文化財調査があげられた

□多かった　□少しあった　□なかった

※自由記載

1. 地域住民の理解
2. 地域住民の理解が得られ、調査をスムーズに進めることができた

□はい　□いいえ　□どちらともいえない

1. 現地説明会に多くの住民が参加し、地域の歴史への関心の高さが示された

□はい　□いいえ　□どちらともいえない

1. 地域住民から調査に対しクレームがつくことが多かった

□はい　□いいえ　□どちらともいえない

※自由記載

1. マスコミ（複数回答可）
2. マスコミの報道が中立的だった

□はい　□いいえ　□どちらともいえない

1. マスコミが復興調査を「復興の壁」と報道し、その収拾に苦労した

□はい　□いいえ　□どちらともいえない

※自由記載

1. 埋蔵文化財普及活動
2. 震災前と後と普及活動の回数などは変わりましたか
* 震災前と同じ　　□増やした　　□減らさざるを得なかった
1. 普及活動で特に意識したことは何ですか（複数回答可）
* 現地説明会を増やした
* 遺跡報告会・講座などを積極的に開催した
* シンポジウムや研究会などを主催、共催、後援した
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※自由記載

* 普及活動の実施状況を別紙にご記入ください

Ⅳ　被災埋蔵文化財資料のレスキュー（被災市町村のみお答えください）

1. 埋蔵文化財資料のレスキューが行われましたか
* 行われない　⇒　設問終了です
* 行われた　　⇒　２へ
1. レスキュー資料の現在の状況についてお答えください
2. 保管場所
3. 保管数量（概算）
4. 保管状況（複数回答可）
* レスキュー時の状態　　□水洗済み　　□袋の詰め替え済み
* 安定化処理済み（骨角器・木器など）
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※自由記載

1. 今後の見通し
* 地元の収蔵施設完成後に収蔵　　　□未定
* その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※自由記載

■　その他、全般的なことなど、お気づきの点やご意見がありましたら、ご記入ください

※自由記載

最後に、アンケート結果の集計と分析にあたって、事例紹介などで機関名を記載する場合があります。そのことをご承諾いただけますか。　　　　　　　　　　　　　　　　□諾　　□否

ご協力ありがとうございました。